

■■■■ 使用説明書 ■■■■

舌圧測定データ表示用ソフトウェア

目次

1. はじめに	・・・1
2. 動作環境	・・・1
2-1. パソコン本体	・・・1
2-2. 本ソフト	・・・1
2-3. パソコン通信ケーブル	・・・1
3. 本ソフト及び USB ドライバのインストール方法	・・・2
3-1. インストーラ	・・・2
3-2. インストール方法	・・・2
3-2-1. Windows 版のインストール方法	・・・2
3-2-2. Mac 版のインストール方法	・・・5
4. デジタル舌圧計とパソコンの接続・通信環境の設定方法	・・・10
4-1. USB 接続のハードウェア設定とパソコンの通信プロトコル設定	・・・10
5. 起動方法	・・・10
5-1. USB ケーブルの接続	・・・10
5-2. 機器の電源投入と本ソフトの起動	・・・10
5-3. 通信プロトコルの設定 (Windows 版のみ)	・・・10
6. 使用方法	・・・12
6-1. 各表示項目	・・・12
6-2. ファイルメニューと設定メニュー	・・・15
6-3. 舌圧測定データの表示	・・・16
6-4. 舌圧測定データのファイル保存	・・・17
7. 本ソフト及び USB ドライバのアンインストール方法	・・・18
7-1. アンインストール方法	・・・18
8. おわりに	・・・18

1. はじめに

舌圧測定データ表示用ソフトウェア（以下、本ソフト）は、JMS舌圧測定器（医療機器承認番号：22200BZX00758000）のデジタル舌圧計から送信された舌圧測定データを取込み、デジタル数値、波形グラフ、並びにレベルサインとして表示します。

舌圧測定データを保存、印刷できるため、測定後、改めてデータを確認することができます。

なお、JMS舌圧測定器の使用方法につきましては、JMS舌圧測定器の添付文書及び取扱説明書をよくご確認いただき、適切な使用方法でお使い頂きますよう、お願い申し上げます。

また、本ソフトの仕様は予告なしに変更する場合がありますので、ご了承ください。

2. 動作環境

本ソフトは、以下の動作環境以外では正常に動作しない場合があります。
本ソフトの使用前に、お手持ちのパソコンの動作環境をご確認ください。

2-1. パソコン本体

Windows 版

パソコン	Microsoft®Windows7 Service Pack 1（日本語版）以降が動作可能なもの
インターフェース	USBが装備されているもの ^{注1}
メモリ	2GB以上推奨
ハードディスク	2.6GB以上の空き（インストール時） ※ .NET Framework のインストールに約 2.5GB の空き容量が必要となりますが、既にインストールされている場合は約 100MB の空き容量があればインストールができます。
ディスプレイ	解像度 1024×768 ピクセル以上

Mac 版

パソコン	Mac OS X 10.11 (El Capitan) 以降が動作可能なもの
インターフェース	USBが装備されているもの ^{注1}
メモリ	2GB以上推奨
ハードディスク	13MB以上の空き（インストール時）
ディスプレイ	解像度 1280×800 ピクセル以上

2-2. 本ソフト

Windows 版

OS	Microsoft®Windows7 Service Pack 1（日本語版） Microsoft®Windows8/8.1（日本語版） Microsoft®Windows10（日本語版） Microsoft®Windows11（日本語版）
----	---

Mac 版

OS	OS X El Capitan 10.11 macOS Sierra 10.12 macOS High Sierra 10.13 macOS Mojave 10.14 macOS Catalina 10.15	macOS Big Sur 11 macOS Monterey 12 macOS Ventura 13 macOS Sonoma 14
----	--	--

2-3. パソコン通信ケーブル

デジタル舌圧計 （型式：TPM-01）	USB2.0/1.1 ケーブル ^{注2} （コネクタ形状：USB(A) オスーUSB(B) オス）
デジタル舌圧計 （型式：TPM-02）	USB2.0/1.1 ケーブル ^{注2} （コネクタ形状：USB(A) オスーUSB(mini-B) オス）

注1：パソコン等の動作環境は、ユーザー様にてご用意下さい。

注2：USB1.1 に準拠するもの。USB3.0 のインターフェースには対応しておりません。

3. 本ソフト及びUSBドライバのインストール方法

ここでは、お手持ちのパソコンに本ソフトをインストールする方法、並びにデジタル舌圧計がパソコンにUSB接続されていることを認識させるためのUSBドライバをインストールする方法を説明します。お手持ちのパソコンの設定によっては、表示画面の有無や内容が異なる場合がありますので、ご了承ください。

3-1. インストーラ

インストーラには下記のものが含まれ、必要に応じて自動的にインストールされます。

Windows版

本ソフト	:	舌圧測定データ表示用ソフトウェア.exe
ドライバ	:	CP210x_VCP_Win_XP_S2K3_Vista_7.exe
ライブラリ	:	PdfSharp.Xps.dll PdfSharp-WPF.dll
実行環境	:	dotNet462Full.exe

Mac版

本ソフト	:	舌圧測定データ表示用ソフトウェア.app
ドライバ	:	CP210xVCPInstaller.pkg Install CP210x VCP Driver.app

3-2. インストール方法

JMS舌圧測定器とパソコンを接続する前に、「お口の情報室」(URL: <http://www.orarize.com>) よりインストーラをダウンロードして頂いた後、本ソフト及びUSBドライバ等をインストールしてください。

3-2-1. Windows版のインストール方法

3-2-1-1. 図1のアイコンをクリックすると、本ソフトのインストーラが起動します。



舌圧測定データ表示用ソフトウェア.exe

図1 本ソフトのインストールアイコン

Windows8及び10の場合、図2のような画面が表示される場合がありますので、“詳細情報”をクリックし、図3の画面にて“実行”ボタンをクリックするとインストーラを起動できます。



図2 Windows SmartScreen

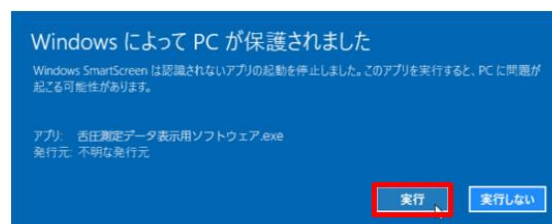


図3 詳細情報

また、Windows7以降では、図4や図5のような画面が表示される場合がありますので、その場合は以下を行ってください。

管理者アカウント使用時

図 4 の画面が表示された場合は、プログラム名を確認し、問題なければ“はい” ボタンをクリックします。

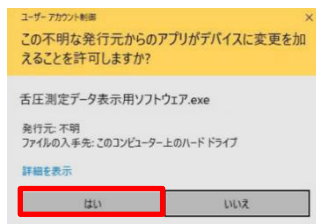


図 4 ユーザーアカウント制御（管理者アカウント）

標準アカウント使用時

管理者権限がないユーザーアカウント使用時は、管理者アカウントのパスワードを入力する必要があります。

図 5 の画面が表示された場合は、プログラム名を確認し、問題なければ管理者のパスワードを入力し、“はい” ボタンをクリックします。

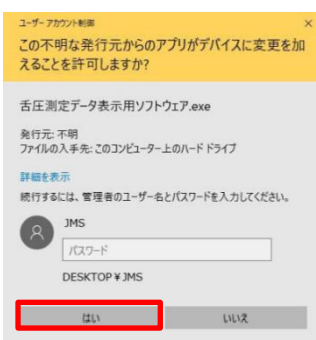


図 5 ユーザーアカウント制御（標準アカウント）

- 3-2-1-2. インストーラが起動すると、本ソフトのセットアップ画面が表示されるので、インストール先フォルダを選んで“インストール” ボタンをクリックしてください（図 6）。インストールが自動的に開始します。

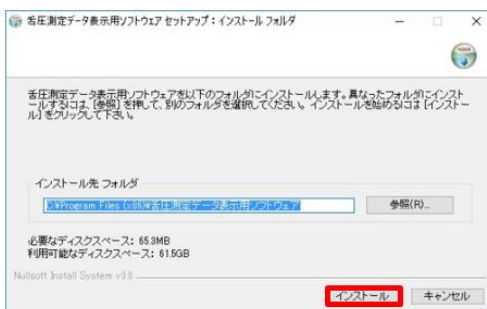


図 6 セットアップ画面

- 3-2-1-3. なお、図 7 のような .NET Framework のセットアップ画面が表示されることがありますが、その際には“同意する” にチェックを入れ、“インストール” をクリックしてください。

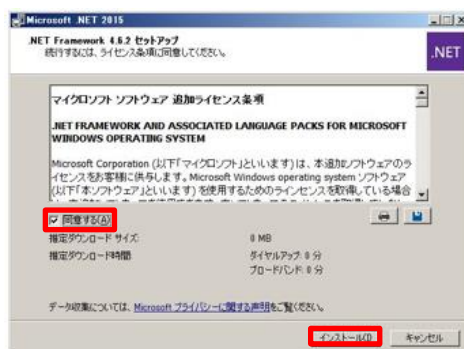


図 7 .NET Framework セットアップ画面

また、既に.NET Framework がインストールされている場合は図 8 のようなメッセージが表示されますが、その際は、“閉じる” をクリックして画面を閉じてください。



図 8 インストール済みメッセージ

3-2-1-5. 次に、USB ドライバのインストール時においては図 9 のような画面が表示されるので、“次へ” ボタンをクリックします。



図 9 USB ドライバインストール画面

3-2-1-6. 続いて、“使用許諾契約” 画面が表示されるので“同意します” を選択し、“次へ” ボタンをクリックします (図 10)。



図 10 使用許諾契約画面

3-2-1-7. USB ドライバのインストールが完了すると図 11 のような画面が表示されるので“完了” ボタンをクリックします。



図 11 USB ドライバインストール完了画面

3-2-1-8. USB ドライバのインストールが完了すると本ソフトのインストールが開始され、インストール完了後に図 12 のような画面が表示されましたら、“完了” ボタンをクリックします。



図 12 インストール完了

3-2-2. Mac 版のインストール方法

3-2-2-1. 図 13 のアイコンをクリックすると、本ソフトのインストーラが起動します。



図 13 本ソフトのインストーラアイコン

なお、セキュリティ設定によっては、図 14 のような警告画面が表示される場合があります。この画面が表示された場合は、インストーラアイコンを“Control”キーを押しながらクリックし、“開く”を選択することでインストーラを起動できます。



図 14 警告画面

なお、Mac OS X 10.13(High Sierra)以降では、“すべてのアプリケーションを許可”が表示されず、図 15 のような画面が表示されますので、“このまま開く”を選択してください。

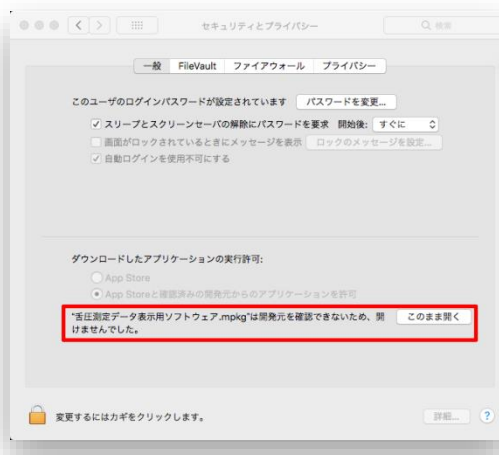


図 15 セキュリティとプライバシー画面

続いて、図 16 のような画面が表示されますので、“開く” ボタンをクリックします。



図 16 確認画面

3-2-2-2. インストーラが起動すると図 17 の画面が表示されるので、“続ける” ボタンをクリックします。

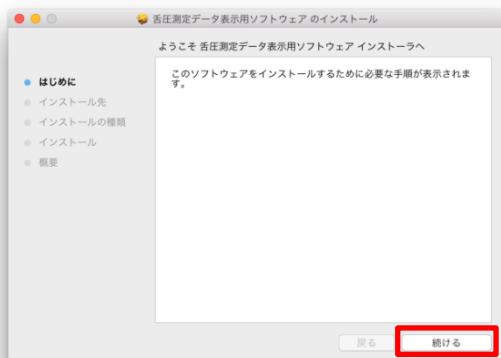


図 17 インストーラ画面

3-2-2-3. 次に、図 18 の画面が表示されるので、インストール先を選択し、“続ける” ボタンをクリックします。



図 18 インストール先の選択

3-2-2-4. 必要な空き容量が表示されるので、問題がなければ“インストール” ボタンをクリックし、インストールを開始します。
なお、場合によっては図 19 のような画面が表示されるので、パスワードを入力して“ソフトウェアをインストール” ボタンをクリックします。



図 19 パスワードの入力

さらに、Mac OS X 10.13(High Sierra)以降では、ドライバの導入時に追加のステップが必要になります。

インストール時に、図 20 のような画面が表示された場合は、“セキュリティ環境設定を開く” ボタンをクリックするか、手動にて“システム環境設定”を開き“セキュリティとプライバシー”をクリックして図 21 の画面を開いてください。

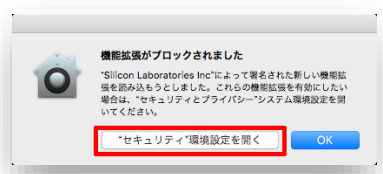


図 20 機能拡張のブロック画面

次に、“一般”タブ内の下の方に“開発元“Silicon Laboratories Inc”のシステムソフトウェアの読み込みがブロックされました。”というメッセージが表示されておりますので、“許可”ボタンをクリックしてください(図21)。これで、正しくドライバを読み込めるようになります。

なお、上記のメッセージが表示されない場合は、デジタル舌圧計と Mac を USB 接続した状態で本ソフトを起動させ、“COM ポートがオープンできません”が表示された後に、再度“システム環境設定”を開き“セキュリティとプライバシー”に上記のメッセージが表示されているか確認してください。

以上を試してもメッセージが表示されないようでしたら、Mac 本体の再起動をお試しください。

注意点としまして、こちらの“許可”ボタンはインストール完了後 30 分のみ表示されます。もし、30 分以内に“許可”ボタンが消えてしまった場合は、再度インストールを行って下さい。

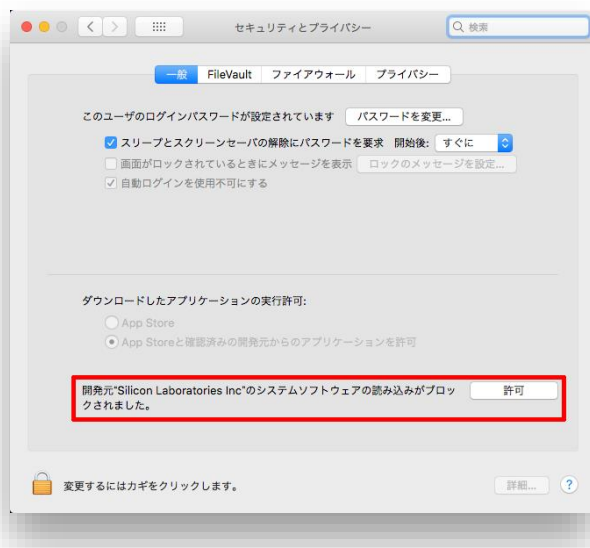


図 21 セキュリティとプライバシー画面

3-2-2-5. インストールが完了すると図 22 のような画面が表示されるので、“閉じる”ボタンをクリックし、画面を閉じます。

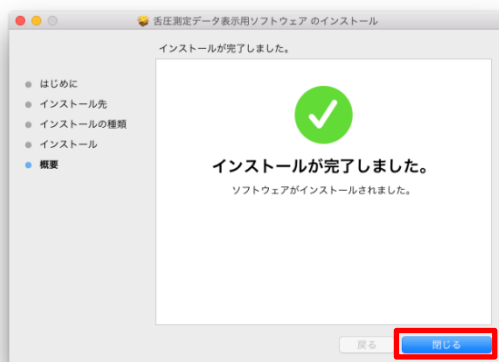


図 22 インストールの完了

3-2-2-6. Mac OS X 10.15(Catalina)以降については、新しいドライバをインストールします。
3-2-2-1. にてインストールアイコンをクリックした際に、図 17 とは別に図 24 の画面が表示されます。
なお、図 23 のような画面が表示される場合もありますが、“開く”ボタンをクリックしてインストールを続行して下さい。



図 23 確認画面

図24のような画面が表示されましたら“Continue”ボタンをクリックします。



図24 ドライバインストール画面

続けて“Continue”ボタンをクリックします（図25）。

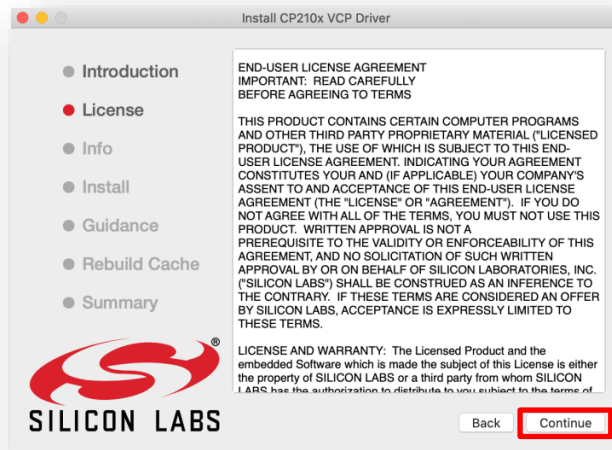


図25 使用許諾画面

図26のような確認画面が表示されますので、“Agree”ボタンをクリックします。

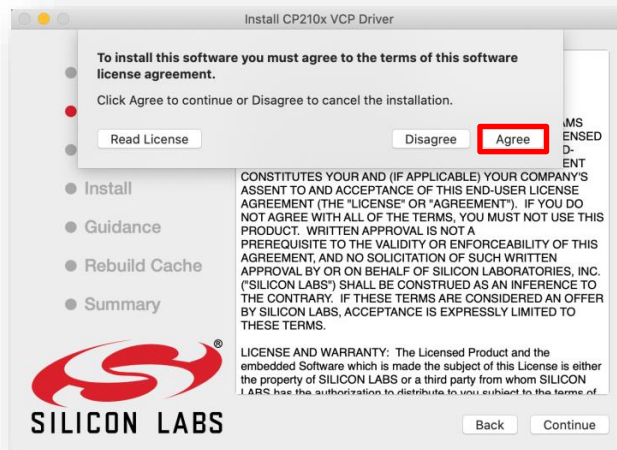


図26 使用許諾画面

続けて“Continue” ボタンをクリックします（図27）。

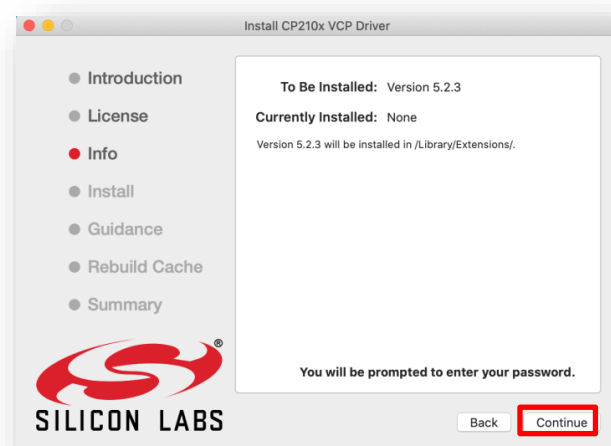


図 27 ドライバ情報画面

図 28 のような画面が表示されますので、パスワードを入力し、“ヘルパーをインストール” ボタンをクリックして下さい。



図 28 パスワード入力画面

インストールが開始され、しばらくして図 29 が表示されればドライバのインストールは完了となりますので、“Close” ボタンをクリックして画面を閉じます。

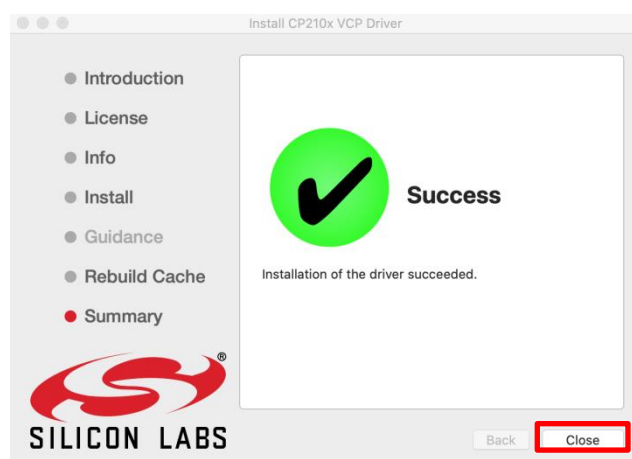


図 29 インストール完了画面

また、こちらのドライバのインストール中にも、その他のMac OSと同様に図20と同様の画面が開く場合がございます。その場合は、他のOSと同様にご対応下さい。

4. デジタル舌圧計とパソコンの接続・通信環境の設定方法

4-1. USB 接続のハードウェア設定とパソコンの通信プロトコル設定

本ソフトとデジタル舌圧計との接続は、USB ケーブルにて行います。
デジタル舌圧計とパソコンを USB で接続すると自動的にハードウェアの設定が終了します。
なお、デジタル舌圧計の型式が TPM-01 の場合は USB (A) オス-USB (B) オス、TPM-02 の場合は USB (A) オス-USB (mini-B) オスとなります。



デジタル舌圧計（型式：TPM-01）



デジタル舌圧計（型式：TPM-02）

5. 起動方法

5-1. USB ケーブルの接続

USB ケーブルをデジタル舌圧計とパソコンに接続します。

5-2. 機器の電源投入と本ソフトの起動

以下の順番でパソコン、本ソフト、デジタル舌圧計を起動します。

- ① パソコンを起動します。
- ② 本ソフトを起動します。
- ③ デジタル舌圧計の電源を投入し、デジタル舌圧計を起動します。

<注意>

ソフト使用中は、USB ケーブルを外さないでください。デジタル舌圧計との通信ができなくなる他、本ソフトが正常に動作しません。万が一、本ソフト使用中に USB ケーブルを外してしまった場合は、一旦ソフトを終了し、USB ケーブルの接続を確認した後、本ソフトを再起動してください。

5-3. 通信プロトコルの設定（Windows 版のみ）

5-3-1. 本ソフトの初回起動時に COM ポートの設定画面が表示されるので、“次へ” ボタンをクリックします。（図 30）。



図 30 COM ポートの設定

5-3-2. 表示されるメッセージに従って COM ポートの設定を行います。
 なお、この操作は 1 度行くと設定値がパソコンに保存されますので、ご使用のパソコンに変更がなければ一度のみの操作となります。
 メッセージ確認後に“次へ” ボタンをクリックします。

5-3-3. メッセージに従って、デジタル舌圧計がパソコンのどの COM ポートに接続されているか確認する
 為に、“コントロールパネル”から“デバイスマネージャー”を開きます（図 31）。
 “デバイスマネージャー”を開いたら、“次へ” ボタンをクリックします。



図 31 コントロールパネルへのアクセス方法

5-3-4. “デバイスマネージャー”の“ポート (COM と LPT)”を開き、Silicon Labs CP210xUSB to UART Bridge(COMx)* の表示を確認します（図 32）。
 本ソフトに戻って“次へ” ボタンをクリックします。

※ 図 32 の例では COM ポートは 3 となっていますが、ご使用のパソコンによって数字は異なります。

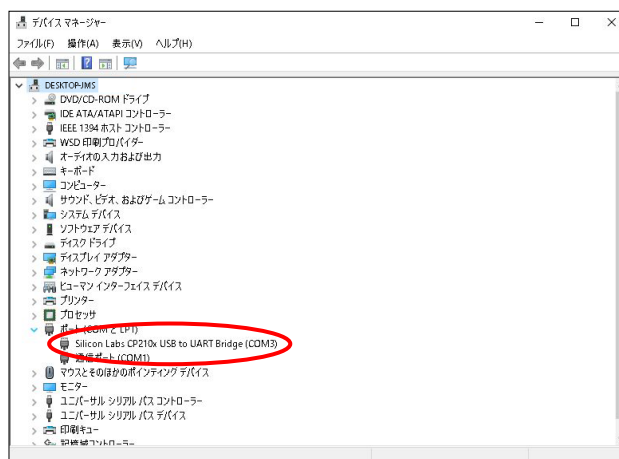


図 32 デバイスマネージャー

5-3-5. 確認した COM ポートをリストから選択して“完了” ボタンをクリックします（図 33）。
 これでポートの設定は完了です。

なお、COM ポートの変更は、本ソフトのメニューバーにある“設定”からも行うことができます。



図 33 COM ポートの選択

6. 使用方法

本ソフトを起動しますと、パソコン上に図34のような画面が表示されます。
なお、Windows版、Mac版共に基本操作は共通です。

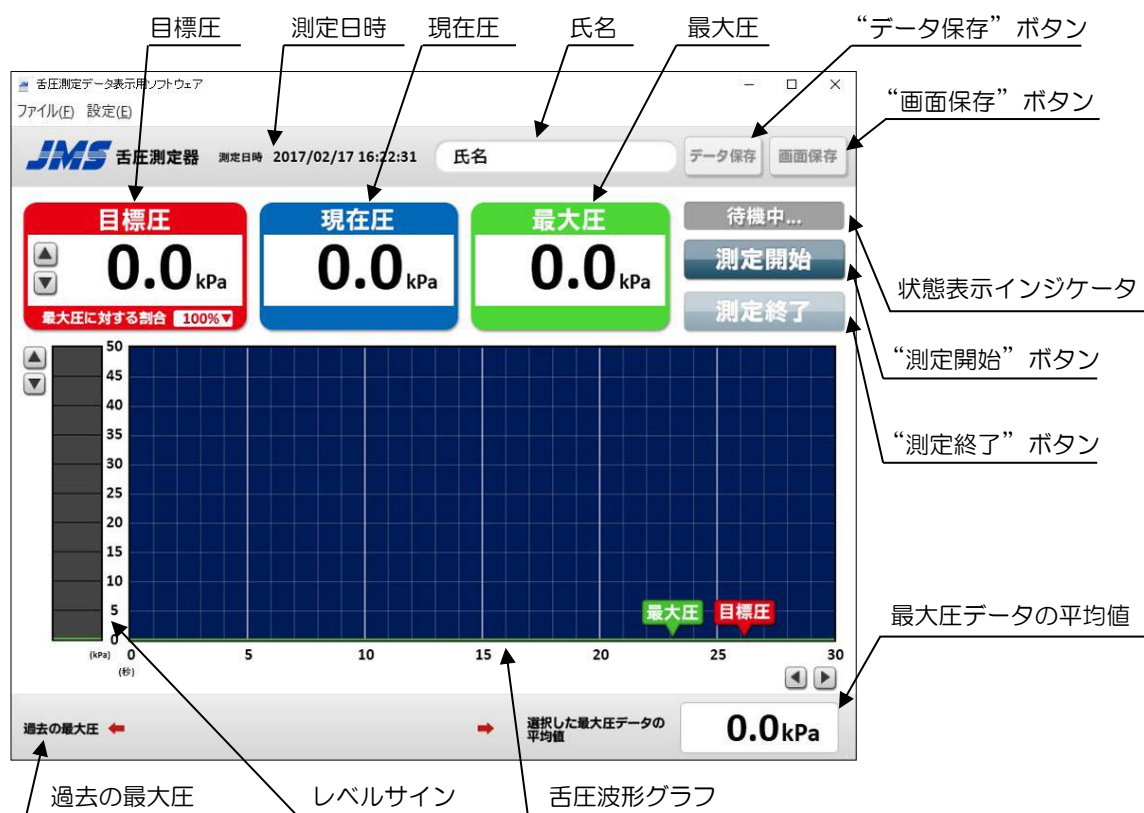


図 34 本ソフトの画面

6-1. 各表示項目

- 氏名
患者名等を入力します。漢字入力ができ、全角文字・半角文字で10文字まで入力できます。
入力した氏名は、保存・印刷にも反映されます。
- 測定日時
使用するパソコン由来の日時が表示されます。保存・印刷に反映されます。
- “測定開始”・“終了”ボタン及び状態表示インジケータ
“測定開始”ボタンをクリックすると状態表示インジケータが[待機中]から[測定中]に切り替わり、舌圧測定データの受信を開始します。
“測定終了”ボタンをクリックすると、表示が[待機中]に切り替わり受信を停止します。
- 目標圧
設定した目標圧を表示します。矢印アイコンで10～80kPaの範囲において常時変更することができます(図35)。



図 35 目標圧の変更

さらに、プルダウンメニューからは、目標圧を10～100%の範囲で変更することができます(図36)。



図 36 最大圧に対する割合

目標圧は赤のラインでも表示され、舌圧測定データがラインを超えると点滅します（図 37）。



図 37 目標圧のライン

- 現在圧

舌圧測定データのリアルタイムの値を現在圧として表示します。

- 最大圧

舌圧測定データの最大圧を表示します。これがその測定における“最大舌圧”となります。

最大圧は緑のラインでも表示され、舌圧測定データの最大圧をホールド表示します（図 38）

続けて舌圧測定を行う場合、デジタル舌圧計の“測定/リセット”ボタンを押し、内圧調整をして次の測定を行います。その際、本ソフト上の最大圧表示及び最大圧のラインもデジタル舌圧計と同時にリセットされます。



図 38 最大圧のライン

- 舌圧波形グラフ

舌圧測定データの経時的な変化を表示します。縦軸、横軸共に矢印アイコンで表示が変更できますが、変更する場合は必ず測定開始前に行ってください（図 39）。測定の途中で変更すると、波形が表示されなくなる場合があります。また、波形データが画面右端に到達した場合、折り返して表示されるデータは前のデータと色を変えて表示します。

なお、このグラフ上で値が振り切った場合でも、現在圧、最大圧の記録は行われますので、実際の値は保存したデータでご確認ください。



波形	配色
1周目	白色
2周目	黄色
3周目	緑色
4周目	水色
5周目	橙色
6周目	紫色

※ 7 周目は再び白色に戻り、以降同じ順番で色が変わります。

図 39 舌圧波形グラフ

・レベルサイン

デジタル舌圧計から送信された舌圧測定データに連動し、現在圧に応じて上下しながら表示します。

・過去の最大圧

測定開始から測定終了までに測定した最大圧を表示します。

最大で 99 回分まで記録されますが、1 画面に表示される記録は直近の 5 回分までとなります。それ以前の記録を見るには、矢印アイコンにて操作を行います(図 40)。

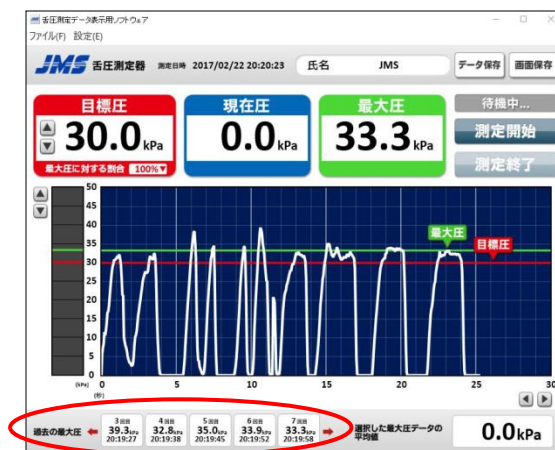


図 40 過去の最大圧

・最大圧データの平均値

“測定終了” ボタンを押し、表示を[測定中]から[待機中]の状態にした後、最大圧の平均値を表示することができます。

選択したい過去の最大圧の記録を最大3つ選択できます。クリックすると背景が水色となって選択状態になり、再度クリックすると選択が解除されます(図 41)。

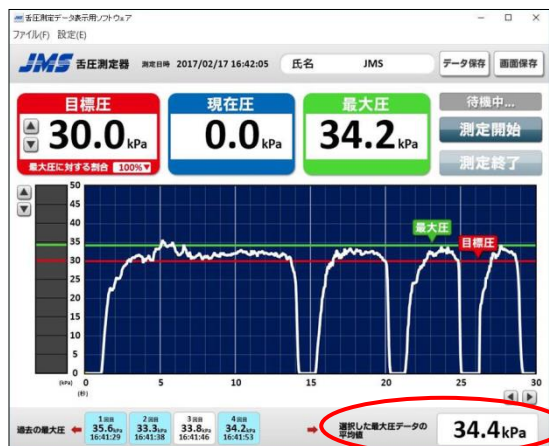


図 41 選択した最大圧データの平均値

- データ保存ボタン

“測定終了” ボタンを押し、表示を[測定中]から[待機中]の状態にした後、このボタンをクリックすると、データを csv 形式で保存することができます。
再度、“測定開始” ボタンをクリックし[測定中]にすると、舌圧測定データはクリアされます。
なお、舌圧測定データと共に、氏名や測定日時も保存します。

- 画面保存ボタン

“測定終了” ボタンを押し、表示を[測定中]から[待機中]の状態にした後、本ソフトの画面全体を png 形式で保存することができます。

6-2. ファイルメニューと設定メニュー

6-2-1. [ファイル]メニュー

[ファイル]をプルダウンする事により、以下の項目が選択できます。

- [データ(csv)を保存]
“データ保存” ボタンと同様の動作となります。
- [ウィンドウ画面を保存]
“画面保存” ボタンと同様の動作となります。
- [一覧形式で保存]と[一覧形式で印刷]
一覧形式となって pdf 形式で保存されます (図 42)。印刷時のレイアウトも同様です。

氏名	測定日時	計測回数	最大圧	目標圧
JMS	2017年 2月22日 20:19:14	1 回目	32.4 kPa	30.0 kPa
JMS	2017年 2月22日 20:19:20	2 回目	38.3 kPa	30.0 kPa
JMS	2017年 2月22日 20:19:27	3 回目	39.3 kPa	30.0 kPa
JMS	2017年 2月22日 20:19:38	4 回目	32.8 kPa	30.0 kPa
JMS	2017年 2月22日 20:19:45	5 回目	35.0 kPa	30.0 kPa
JMS	2017年 2月22日 20:19:52	6 回目	33.9 kPa	30.0 kPa
JMS	2017年 2月22日 20:19:58	7 回目	33.3 kPa	30.0 kPa

図 42 一覧形式の保存例

- [分割形式で保存]と[分割形式で印刷]
1 回の測定結果が表の形となって pdf 形式で保存されます (図 43)。印刷時のレイアウトも同様です。

氏名: JMS 測定日時: 2017年 2月22日 20:19:14 計測回数: 1回目 最大圧 32.4 kPa 目標圧 30.0 kPa <JMS舌圧測定器での測定結果>	氏名: JMS 測定日時: 2017年 2月22日 20:19:20 計測回数: 2回目 最大圧 38.3 kPa 目標圧 30.0 kPa <JMS舌圧測定器での測定結果>	氏名: JMS 測定日時: 2017年 2月22日 20:19:27 計測回数: 3回目 最大圧 39.3 kPa 目標圧 30.0 kPa <JMS舌圧測定器での測定結果>
氏名: JMS 測定日時: 2017年 2月22日 20:19:38 計測回数: 4回目 最大圧 32.8 kPa 目標圧 30.0 kPa <JMS舌圧測定器での測定結果>	氏名: JMS 測定日時: 2017年 2月22日 20:19:45 計測回数: 5回目 最大圧 35.0 kPa 目標圧 30.0 kPa <JMS舌圧測定器での測定結果>	氏名: JMS 測定日時: 2017年 2月22日 20:19:52 計測回数: 6回目 最大圧 33.9 kPa 目標圧 30.0 kPa <JMS舌圧測定器での測定結果>

図 43 分割形式の保存例

- [選択したデータを保存]と[選択したデータを印刷]
選択した最大3つの最大圧の平均値が csv 形式で保存されます (図 44)。印刷時は分割形式と同じレイアウトにて印刷が行われます (図 45)。

氏名	JMS	
測定日時	2017/3/23 20:52	
選択した最大圧データ(kPa)		
①	33.4 max	
②	25.6 min	
③	29.4	
選択した最大圧データの平均値(kPa)		
	29.5	

図 44 最大圧の平均値の保存例

氏名: JMS 測定日時: 2017年 3月23日 20:52:35
測定データ
① 33.4 kPa
② 25.6 kPa
③ 29.4 kPa
平均値: 29.5 kPa
最大値: 33.4 kPa
最小値: 25.6 kPa
<JMS舌圧測定器での測定結果>

図 45 最大圧の平均値の印刷例

- [終了]
本ソフトを終了します。

6-2-2. [設定]メニュー

- [ポート設定]
手動でポートの設定を変更することができます。必ず“デバイスマネージャー”で表示されている番号と同じポートを選択してください(図46)。
※ Mac版にはポート設定項目はありません。



図46 ポート設定

- [目標圧設定]
目標圧の初期値を変更することができます(図47)。設定後は、変更された値が本ソフト起動時の目標圧となります。

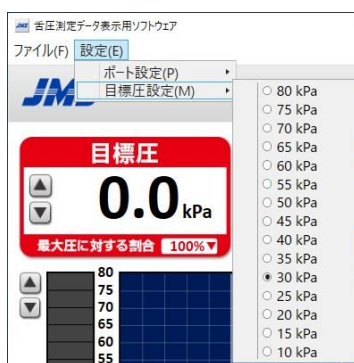


図47 目標圧の設定

6-3. 舌圧測定データの表示

6-3-1. 舌圧測定器の測定準備

デジタル舌圧計の電源を入れ、“測定/リセット”ボタンを押して内圧を調整後、測定準備完了の状態にします(詳細は「JMS舌圧測定器 取扱説明書」をご確認下さい)。

6-3-2. 氏名の入力及び目標圧の設定

本ソフトの“測定開始”ボタンを押して表示されるポップアップウィンドウに氏名を入力し、目標圧を設定後、“測定開始へ”ボタンをクリックしてポップアップウィンドウを閉じます(図48)。状態表示インジケータが[待機中]から[測定中]に変わり、デジタル舌圧計とパソコンの通信を開始します。



図48 氏名の入力

6-3-3. 舌圧測定の開始

舌圧プローブのバルーンを舌で押し潰すことにより、舌圧を測定します。この時、本ソフトの画面には、時間経過に対する舌圧の変化が波形として表示されます(図49)。図49の例では、最大舌圧は35.6kPaとなります。



図 49 舌圧測定の開始

続けて同じ方の舌圧を繰り返し測定する場合は、デジタル舌圧計の“測定/リセット”ボタンを押し、初期内圧をリセットしてから測定を行ってください。

“測定/リセット”ボタンを押すたびに、直前に測定した最大圧が過去の最大圧の欄に順番に表示されます。

6-3-4. 通信の終了

“測定終了”ボタンをクリックすると、状態表示インジケータが[測定中]から[待機中]となり、デジタル舌圧計とパソコンの通信を終了します。

6-4. 舌圧測定データのファイル保存

6-4-1. “データ保存”ボタンを押す。

“データ保存”ボタンあるいは[ファイル]より[データ(csv)を保存]を選択してデータを保存します。保存した舌圧測定データは以下のような形式で保存されます(図 50)。

氏名		JMS							
測定日時		2017/2/22 2019							
1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目	10回目
最大値(kPa)	32.4	最大値(kPa)	38.3	最大値(kPa)	39.3	最大値(kPa)	39.3	最大値(kPa)	39.3
目標値(kPa)	30	目標値(kPa)	30	目標値(kPa)	30	目標値(kPa)	30	目標値(kPa)	30
測定時間(秒)	0.05	測定時間(秒)	0.05	測定時間(秒)	0.05	測定時間(秒)	0.05	測定時間(秒)	0.05
0.1	5.8	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
0.15	7.3	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
0.2	8.4	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
0.25	11.5	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
0.3	10.6	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
0.35	12	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35
0.4	13.9	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
0.45	16.7	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45
0.5	16.9	0.5	2	0.5	7.5	0.5	7.5	0.5	7.5
0.55	18.3	0.55	4.4	0.55	11	0.55	11	0.55	11
0.6	20.8	0.6	8.3	0.6	14.5	0.6	14.5	0.6	14.5
0.65	23.4	0.65	11.9	0.65	19.3	0.65	19.3	0.65	19.3
0.7	25.7	0.7	15.2	0.7	22.9	0.7	22.9	0.7	22.9
0.75	27.8	0.75	18.7	0.75	26.1	0.75	26.1	0.75	26.1
0.8	29	0.8	21.3	0.8	28.7	0.8	28.7	0.8	28.7
0.85	29.7	0.85	24.2	0.85	30.8	0.85	30.8	0.85	30.8
0.9	30.8	0.9	27.3	0.9	32.3	0.9	32.3	0.9	32.3
0.95	30.6	0.95	30.4	0.95	34.2	0.95	34.2	0.95	34.2
1	31	1	32.3	1	34.2	1	34.2	1	34.2

図 50 保存される舌圧測定データの例

6-4-2. “画面保存”ボタンを押す。

“画面保存”ボタンあるいは[ファイル]より[ウィンドウ画面を保存]を選択して、本ソフトの画面全体を保存します。

保存した画面データは図 51 のような形で保存されます。



図 51 画面保存の例

7. 本ソフト及びUSBドライバのアンインストール方法

7-1. アンインストール方法

7-1-1. Windows 版のアンインストール方法

コントロールパネルより、“プログラムと機能”を選択し、下記2項目をアンインストールしてください。

- 舌圧測定データ表示用ソフトウェア
- Windows ドライバ パッケージ - Silicon Laboratories Inc. (silabser) Ports (03/28/2016 6.7.3.350)

7-1-2. Mac 版のアンインストール方法

“Finder”の“アプリケーション”フォルダ内にある本ソフトのアイコンを“ゴミ箱”に移動してください。

8. おわりに

以上が本ソフトの使用説明です。正しくインストールし、安全にご使用ください。